

令和8年度 第1回文化財保護委員会 会議録

開催日時	令和8年5月27日 水曜日 13時30分から14時30分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム2
出席者	島崎直人委員長、細井守委員、宮原俊一委員、井上太郎委員、和田智司教育長
事務局	松本教育部長、武井生涯学習課長、二見生涯学習班長、山本主事補 中山会計年度任用職員
その他	傍聴者 なし

会議記録

(司会：武井生涯学習課長)

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 教育長あいさつ

4. 自己紹介

5. 委員長及び福委員長の選出について

委員長に島崎直人氏、副委員長に古宮雅明氏を選出

6. 議 題

(1) 令和8年度文化財保護関係事業について

事務局より資料に基づいて説明【資料1】

(委 員)

二宮高校の相模人形部の部員が3名になったということで、今後の活動に期待したい。
二宮高校としても「伝統芸能ができる高校」という特色を生かしていけるとよい。

(事務局)

現在、二宮高校の新2年生が二宮高校を活性化させようと熱意をもって取り組んでいる。その中で二宮高校をPRするには二宮町の良さをアピールする必要があると考えていることから、町では相模人形部だけでなく、バックアップができることがあれば協力していくことになった。

(2) 令和8年度ラディアンギャラリー展示について
事務局より資料に基づいて説明【資料2】

(委 員)

先日小田原城に行って展示を見たら、詳細はQRコードで読み込むようになっていた。年配者が展示を見て、自分で詳しいことを調べるのはなかなか難しいが、QRコードなら使えると思う。このような方法をギャラリー展示でも生かせないか。

(事務局)

今年度の展示は「簡単にみることができる展示」を意識し、あまり細かい説明を加えず、とりあえず見て、興味を持ってもらえるような内容にしている。QRコードで説明を2段階にするのはよいアイデアなので、できるところから取り入れたい。

(委 員)

学校教育の中では、縄文時代、弥生時代というのは、子どもたちにとって関心はあるがなかなか教えにくい分野であると思う。

(委 員)

教科書に載っていることと、地域の歴史を結びつけるのはなかなか難しい。たとえば教科書にはあまり取り上げられないような横穴墓群などでも、自分に引き付けて考えてもらうためには、出土したものがどのように使われていたのかなどを伝えられれば理解が深まるのではないか。

(事務局)

今年の展示は、3校合同放課後子ども教室の日程に合わせて開催するので、内容を工夫したい。

(3) その他

「史料から見る地域のつながり～江戸時代・明治時代の中地区ネットワーク～」についての講話

7. 閉会